

Long-term prognosis of adult patients with steroid-dependent minimal change nephrotic syndrome following rituximab treatment.

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 岩渕, 裕子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/31323

様式 (6)

学位審査

学位番号	乙第 2875 号	氏名	岩渕 裕子
審査委員会	主査教授	新田 孝作	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>本研究の目的は、リツキシマブ治療を行ったステロイド依存性頻回再発型ネフローゼ症候群成人患者の長期予後を検討することである。</p> <p>ステロイド依存性頻回再発型微小変化型ネフローゼ症候群で、非対照治療研究として 6 ヶ月毎に 4 回リツキシマブ 375 mg/m²を投与した患者のうち、投与開始から 3 年以上経過した 25 例を対象とし、リツキシマブ開始前後 2 年間の再発回数を比較した。</p> <p>初回リツキシマブ投与前後 2 年間ににおけるネフローゼ症候群再発回数は、リツキシマブ投与後において有意に減少を認めた(108 回 vs 8 回, P<0.001)。また、リツキシマブ 4 回終了後に 5 例、5 回後に 4 例、6 回後に 2 例が投与を終了したところ、4 回目に終了した 1 例のみ CD19 回復とともに再発を認めた。一方、リツキシマブ治療を継続した 14 例では 1 例も再発しなかった。</p> <p>本研究の結果から、リツキシマブ治療がステロイド依存性頻回再発型ネフローゼ症の寛解維持に有用であることが判明した。</p>			
<p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			